

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	漁業近代化資金利子補給事業			
予算科目	6款 3項 2目			
総合計画での位置付け	産業の振興～もりもり元気なしごとづくり～ 水産業の振興			
所管課情報	担当課: 農林水産課		電話番号(内線): 579	
記入者情報	所属長: 亀岡 泰三		担当責任者: 福積 和富	
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 18 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	漁業者及びその組織する団体(漁業協同組合)			
根拠法令等	漁業近代化資金利子補給に関する条例及び同条例施行規則			
事業の目的	漁業者及び漁業団体に対し低金利の融資を円滑に実施する措置を講じ、漁業経営の近代化と合理化を図り漁業の振興に資する。			
事業の内容	条例に基づき、漁業協同組合を通じて、漁船の新造船、機関の取替え等に必要な近代化資金を借り受けた漁業者に対し1%の利子補給を実施している。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	413	480	176	331
	人件費	406	397	159	397
	合計	0	877	335	728
人件費 内訳	人工数	0.05	0.05	0.02	0.05
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	406	397	159	397
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	819	877	335	728

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
漁業近代化資金利子補給承認件数	件	22	22	20	22

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	1,000	1,000	1,000	1,000	0	4,000

成果指標				
成果指標	漁業近代化資金の利子補給件数(累計数)			
指標設定の考え方	事業効果として、資金借受者の金利負担を軽減し、融資が円滑に行われたかどうかを測定するため、利子補給件数(累計額)を指標値とする。(目標値は設定しない。)			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	50	50	0	0
実績	50	50	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	各漁協から出された融資に対する利子補給を適切に行えた。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	漁業者及び漁業団体への利子補給事業として、漁業の振興を図るうえで不可欠な事業であり、引き続き適切に事業の執行に努め、併せて漁業近代化資金制度の周知を図る必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題